

TSUDOI

スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド


仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

 **とは** リサーチ担当の目線で、関連ニュースから中長期的に、いい影響がありそうな銘柄に表示しています。



有料
レポート

GOODマーク付き銘柄 2024 2月集計結果

トップ銘柄 分析ガイド 2/26

一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインもBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。

※数ヶ月単位でのパフォーマンスについては、4ページ目をご参照ください。



1月4週目~2月4週目までの週次レポートにて選定された15つのTOP銘柄の中から8つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。





※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

今月のGoodマークTOP銘柄の成果は、8銘柄中7銘柄が価格高騰、さらにはBTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出した銘柄は、3銘柄ほどありました。

BTCの2月の上昇率は33.30%。このBTCの高騰はアルトコインに遅れて影響を与える傾向にあり、2月末の現在、その影響はまだ完全には反映されていない可能性があります。

TSUDO I分析レポート マーク銘柄一覧

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
1/25	 <u>TRON</u>	▲ 30.89%
2/1	 <u>ChainLink</u>	▲ 26.09%
2/1	 <u>Sui</u>	▲ 15.86%
2/8	 <u>ChainLink</u>	▲ 5.56%

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
2/8	 <u>Celestia</u>	▽ -13.75%
2/15	 <u>Immutable</u>	▲ 3.70%
2/15	 <u>Stacks</u>	▲ 18.86%
2/21	 <u>The Graph</u>	▲ 11.32%

GOODマーク付き銘柄 2024 2月集計結果




『狙い目：中堅銘柄』 & 『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド

2 / 26

1月4週目～2月4週目までの週次レポートでは、15つの狙い目：中堅銘柄を詳細に分析しました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

今月は、『大穴：新規銘柄』に掲載した銘柄6つの中から、TSUDO1チームの方では3銘柄とも中長期的な成長の可能性を持つと判断して『👍』を付与しております。月末時点での結果として、**3銘柄中2銘柄が、BTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しております。**

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
1/25	 Ondo	▲71.95%
1/25	 Metis	▲34.56%
2/8	 Dymension	▼-17.06%

GOODマーク付き銘柄 投資シミュレーション

下記シミュレーションは、週次分析レポート発行日に『👍』マーク銘柄を10万円ずつ購入し、その後、売却せずに現在(2/26)まで保有し続けた場合の利益を計算したものです。

また、比較対象として、投資総額(円)と、各日付にてBTCを同額分購入し保有し続けた場合のBTC総数の現在レートを算出しております。

結果として、下記の通りBTCの積み立てでは、**350万円の投資総額に対し、およそ96.12万円の利益(およそ27%)**、**対象銘柄への投資を行った場合、およそ145.2万円の利益(41.5%)**という結果となっています。これは、**BTCの積み立てよりも、およそ1.51倍のリターンを得た結果**となりました。

『👍』マーク：35銘柄×10万円

	35銘柄×10万円	BTC 積立	『👍』銘柄
円換算	¥3,500,000	¥4,461,225	¥4,952,466
利益	¥0	¥961,225	¥1,452,466
利益率	0%	27.46%	<u>41.50%</u>

同様のシミュレーションを『狙い目：中堅銘柄』及び『大穴：新規銘柄』に行った場合

対象となる11つの銘柄への投資に対し、**BTCの積み立てよりも、およそ2.69倍**のリターンを得た結果となりました。
















	11銘柄×10万円	BTC 積立	『👍』銘柄
円換算	¥1,100,000	¥1,450,228	¥2,043,565
利益	¥0	¥350,228	¥943,565
利益率	0%	31.84%	<u>85.78%</u>





2月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

トップ銘柄 分析ガイド 2/26

この分析ガイドでは、2月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

掲載日	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の 値上がり率	トークン価格 (2/26現在)	取引量ランク/24H	スコア
2/2	#12→#12	 ChainLink 	platform	▲34.17%	¥2,798.58	#16→#31	75.28(-0.12)
2/2	#45→#46	 Sui 	Layer1	▲38.99%	¥246.31	#12→#46	56(±0)
2/2	#46→#42	 Render	metaverse	▲83.67%	¥1,091.96	#42→#38	56(±0)
2/9	#11→#12	 ChainLink 	platform	▲34.17%	¥2,798.58	#10→#31	75.28(-0.12)
2/9	#26→#41	 Celestia 	modular blockchain	▲5.64%	¥2,485.40	#31→#88	57.69(+1.69)
2/9	#33→#28	 Kaspa	Layer1	▲68.42%	¥25.23	#78→#145	54.78(±0)
2/16	#21→#22	 Immutable 	Layer 2	▲82.56%	¥504.27	#45→#94	64.39(±0)
2/16	#25→#29	 Stacks 	platform	▲70.43%	¥378.16	#13→#75	67.77(+0.52)
2/16	#50→#62	 Helium	IoT	▲19.55%	¥1,242.65	#161→#346	66.33(±0)

掲載日	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の値上がり率	トークン価格 (2/26現在)	取引量ランク/24H	スコア
2/22	#28→#23	 Filecoin	storage	▲63.38%	¥1,225.02	#11→#18	56(±0)
2/22	#35→#33	 VeChain 	IoT	▲72.26%	¥7.02	#104→#77	56(±0)
2/22	#46→#40	 The Graph	AI & Big Data	▲96.59%	¥44.60	#49→#19	68.74(+4)

月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄のうち、5銘柄は、過去に週次レポートにおいて、既にTOP銘柄としてピックアップされている銘柄となります。これらの銘柄は、継続して利益を伸ばしていることを意味します。これらの銘柄がなぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧ください、投資家の皆様がより深く理解するための分析情報としてレポートを配信させていただきます。

トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコアを付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価をおこなっています。

スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標として使っていただければと考えています。

2月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記、基準にて2月の調査を行ったところ、今月は、The Graphのスコアが+4点上がっており、主にトークンのパフォーマンスや、分散型ガバナンスを中心としたエコシステムが活性化されておりました。

※TSUDOI分析レポートで過去に掲載した銘柄のスコアを調査しております。










検索トレンド中堅銘柄 月次分析




『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 2/26

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～200位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日2/26

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	取引量 ランク/24h	直近1カ月の トークン価格上昇率
2/2	#64→#56	 Theta Network	Layer1	#187→#96	▲54.97%
2/2	#83→#89	 Neo	platform	#146→#165	▲21.99%
2/2	#121→#124	 Metis	Layer2	#201→#110	▲33.29%
2/9	#66→#72	 Tezos	platform	#191→#222	▲18.26%
2/9	#157→#135	 Convex Finance	DeFi	#210→#301	▲18.26%
2/9	#200→#242	 ICON	platform	#624→#392	▲14.10%
2/16	#80→#89	 Neo	platform	#124→#165	▲21.99%
2/16	#158→#167	 Qtum	platform	#78→#105	▲14.40%
2/16	#193→#244	 Biconomy.	platform	#407→#294	▲9.31%

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	取引量 ランク/24h	直近1カ月の トークン価格上昇率
2/22	#80→#95	 Axelar	interoperability	#362→#443	▲58.43%
2/22	#158→#135	 Convex Finance	DeFi	#355→#301	▲18.26%
2/22	#193→#141	 Zcash	Privacy	#108→#106	▲26.90%

上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

Metis : METIS

注目ポイント：Metisの期待が高まる2つの要因 

Metisは、約4億ドル相当のMETISのエコシステムファンド設立と分散型シーケンサーのアルファメインネットのローンチが3月に予定されていることにより、開発者支援とプラットフォームの機能拡張が進み、その革新性と成長の潜在力が高まっています。

分散型シーケンサーは、トランザクションの順序付けと配布を行うシステムで、ネットワークの効率とスケーラビリティを向上させます。これにより、処理速度が速く、手数料が低減され、Metisプラットフォームの機能拡張と革新性が促進されるため、成長の潜在力が高まります。

※本銘柄は、1月4週目の週次レポートにて、『大穴：新規銘柄』としてGoodマークを付与している銘柄となります。

Zcash : ZEC

注目ポイント：GrayscaleのプライバシーETF提案により、2/22より20%ほど価格高騰

GrayscaleがプライバシーテーマのインデックスETFを申請したことは、仮想通貨投資の分野においてまた一つ新たな節目を示しています。この動きは、暗号資産市場におけるプライバシー保護技術への関心が高まっていることを反映しており、投資家に新たな選択肢を提供することを目指しています。

Grayscaleは、ビットコイン現物ETF「GBTC」を提供する米暗号資産（仮想通貨）投資会社となり、彼らの動きは、今後の既存金融からの資金の流入のきっかけとなる可能性があると投資家から注目を集めています。





有名VCによる 資金調達最新情報分析

『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 2/26

2024年1月29日～2月25日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル(VC)の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は104社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは23社となります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 AltLayer	Infrastructure	戦略的	\$4.80M	Fenbushi Capital Framework Ventures Volt Capital ...	2/9	事業モデル ★★★(2.5) メンバー ★★★(3.0)
 Pixels	Gaming	戦略的	\$4.80M	Fenbushi Capital Framework Ventures Volt Capital ...	2/9	事業モデル ★(1.0) メンバー ★☆(1.5)
 Puffer Finance	DeFi	戦略的	---	Binance Labs	1/30	事業モデル ★★★(2.5) メンバー ★★★(2.5)
 Portal	Infrastructure	シードラウンド	\$34.00M	Coinbase Ventures Arrington Capital OKX ...	1/30	事業モデル ★★★(3.0) メンバー ★★★(2.5)

2月の資金調達事情について

1月に引き続き、Web3とブロックチェーンインフラへの投資が集中している中で、**特にDeFi分野への投資が増加しています。**この傾向は、ブロックチェーンインフラが提供する機能上でDeFiが実現可能であることから、資金が流入している初期動向とみることができます。さらに、多くの利便性の高いDeFiプロジェクトの出現により、**DeFi分野の将来性に対する確固たる信頼を示しており、より成熟した市場への移行を加速させるきっかけになる可能性があります。**

AltLayer

分野：Web3 Infrastructure

トークン名：ALT

◆ トークン発行済み

Binance上場：1/25

ALTLAYER

Investors:

POLYCHAIN CAPITAL

Hack VC

AltLayer is an open and decentralized protocol for developers to launch application-tailored rollups.

Raised: **\$ 14.4M**

Strategic

CryptoRank_VCS

CryptoRank_Fundraising

CryptoRank.io/Funding-Rounds

01. 概要 Binance Launchpool 45番目の銘柄

AltLayerは、ブロックチェーンの取引を効率的に処理するための新しい方法を提供するシステムです。これは、ブロックチェーンの速度を向上させ、より多くのユーザーが同時に利用できるようにする技術です。具体的には、OP Stack、Arbitrum Orbit、Polygon CDK、ZK Stackなど、さまざまな基盤技術（ロールアップスタック）を利用して作られたプロジェクトに対して、リ・ステーキングという手法を使って、セキュリティ（安全性）、分散化（中央集権化されていない管理）、相互運用性（異なるシステム間での互換性）、および暗号経済的な迅速な確定性（取引が確実に完了する速度）を高めることができます。

02. 運営メンバー

Founders：Yaoqi Jia氏

Parity Asiaという組織のディレクター兼GMを務め、ブロックチェーン技術の基盤となる重要なプロジェクトに関わりました。2019年には、技術分野での顕著な貢献を認められForbes 30 Under 30 Asiaに選出されました。Zilliqaの共同創設者兼CTOとしては、シャーディング技術を用いたブロックチェーンプラットフォームの開発を主導しました。シンガポール国立大学で博士号を取得し、ブロックチェーンとセキュリティに関する研究で複数の賞を受賞。Yaoqi Jia氏の研究は、GoogleやAppleによって認められ、メディアからも注目されています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆(2.5)

AltLayerはEthereumのレイヤー2環境とその進化に適応し、ブロックチェーンの取引効率を向上させるための新しいアプローチを提供しています。レイヤー2技術の発展とともに、そのようなイノベーションはEthereumエコシステムの成長に不可欠であり、AltLayerのビジネスは業界の現在の動向と将来の方向性に沿ったものであると評価できます。しかし、この技術が確固たる市民権を得ているわけではなく、広く認知されていく過程で不確定要素により課題に直面する可能性があることには注意が必要です。

メンバー ★★★(3.0)

Yaoqi Jia氏の技術的専門知識、リーダーシップ経験、業界内での認知度は、AltLayerが直面するであろう挑戦を乗り越え、ブロックチェーン技術の新たな可能性を開拓する上で重要な資産となるでしょう。彼の経歴は、AltLayerの運営において強みとなり、プロジェクトの成功に不可欠な要素です。

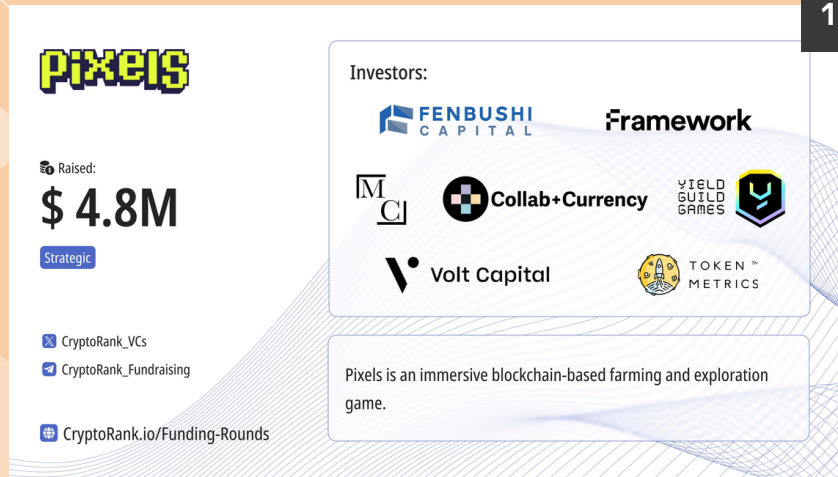
Pixels

分野：Gamefi

トークン名：PIXEL

◆ トークン発行済み

Binance上場：2/19



PIXELS

Raised: **\$4.8M**

Strategic

Investors:

- FENBUSHI CAPITAL
- Framework
- Collab+Currency
- YIELD GUILD GAMES
- Volt Capital
- TOKEN METRICS

PIXELS is an immersive blockchain-based farming and exploration game.

CryptoRank_VCS
 CryptoRank_Fundraising
 CryptoRank.io/Funding-Rounds

01. 概要 Binance Launchpool 46番目のGameFi銘柄

Pixelsは、一つひとつのピクセルで構築された、農業と探索の世界観を提供するGameFi銘柄です。資源を集め、スキルを向上させ、関係を築きながら、Pixels Universeを通じて織りなされる物語やクエストを探索することで、管理、創造、探索の魅力的な組み合わせに没頭します。この世界では、ブロックチェーンの所有権があなたの進歩と成果と結びついています。本プロジェクトは、楽しくて気軽に遊べる、ブロックチェーンを背景にしたゲームを作ることを目指しています。

02. 運営メンバー

Founders：Luke Barwikowski氏

技術と経済学の背景を持ち、若い年齢から技術開発に情熱を注いできた人物となります。

エンジニアチームの責任者には、**2004年に約3,560万ドル(現在のレートで約53億4,000万円)で買収されたアメリカの有名なゲーム開発スタジオである GameHouse の共同創設者である BenJamin Exworthy氏とGarr Godfrey氏**が本プロジェクトに参画しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★

GameFi分野の中では、100万人を超えるユニークユーザーと18万人を超える毎日のアクティブユーザーを達成するなどの実績を作っているプロジェクトとなります。しかしながら、2024年2月現在、ブロックチェーンインフラの成熟や業界のトレンドの変動性を考慮すると、この分野が主流となるにはまだ時間がかかるという見方もあります。GameFiプロジェクトとしてGame事業全体へ影響力を持ち本質的な需要を生み出すには、革新性だけでなく、ユーザー体験、ゲームの品質、そして経済的持続可能性に対し、注力することが必要です。

メンバー ★☆(1.5)

Pixelsプロジェクトのチームは、ゲーム開発に関する豊富な経験と成功実績を背景に持っています。トークンを発行し間もない状況ではありますが、今後はこのチームがBlockchain技術や仮想通貨の領域で必要な知識やスキルを身につけ、適応していけるかが、今後の大きな課題となる可能性があります。彼らとそのギャップを埋めることができれば、GameFiビジネスにおいても大きな成功を収める可能性は高いと言えるでしょう。

Puffer Finance

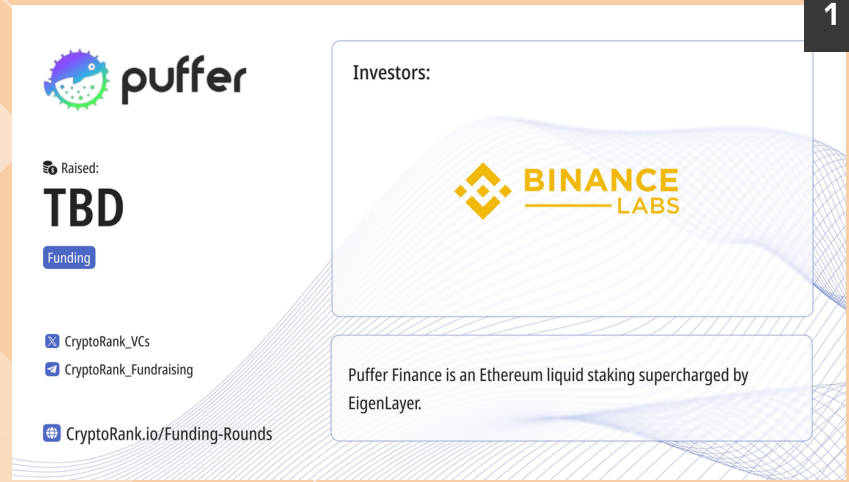
分野：DeFi

リキッド・リスティング

◆ トークン未発行

メインネットリリース前

(2月末現在Public Testnet運用中)



01. 概要 リキッド・リスティング分野2位のDeFi銘柄

Puffer Financeは、このDeFiの世界において、特にEthereumのステーキングをより安全かつ効率的にすることを目的としたサービスの一つです。Puffer Financeは、EigenLayerを介したEtherの再ステーキングを可能にするリキッド・リスティングプロトコルです。このプロトコル分野は、急成長しているDeFi（分散型金融）のトレンドの一つとなっており、調査時点で同分野2位、10億2100万ドル(およそ153億円)のTVLを保持している既に実績のあるDeFi銘柄となります。

02. 運営メンバー

Contributor：Amir Forouzani 氏

Puffer Financeファウンダーは、NASAでデータサイエンティスト、USCで研究アシスタントを務め、2022年11月よりPuffer Financeでブロックチェーン革新に貢献。Puffer Community Multisignatureという本プロジェクトの重要な決定に関与するメンバーとして、Ethereum Foundationの研究開発のキーパーソンJustin Drake氏、Banklessの共同創設者であるDavid Hoffman氏など業界専門家が参加しております。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆(2.5)

Puffer Financeは、リキッド・リスティングというDeFiの重要なトレンドに沿ったサービスを提供しており、Ethereumのステーキングエコシステムにおける新しい機会を探求しています。そのため、このプロジェクトは業界の現在の動向に合致しており、成長する可能性が高いと考えられます。ただし、この分野の競争は激しく、他のプロジェクトとの差別化や継続的な実績の積み重ねが重要になることには留意が必要です。

メンバー ★★☆(2.5)

Puffer Financeは、優れた創設者と強力な業界のサポートを背景に、リキッド・リスティング事業で革新を推進しています。このプロジェクトは、Ethereumのステーキングエコシステムにおける重要な問題を解決し、DeFiの未来を形作る可能性を秘めています。

Portal

分野：Infrastructure

トークン名：不明

◆サービスリリース前

PORTAL

Investors:

coinbase Ventures arrington XRP CAPITAL

OKX VENTURES Gate.io Labs

Raised: \$34M

Seed

CryptoRank_VCs
 CryptoRank_Fundraising
 CryptoRank.io/Funding-Rounds

Portal is a Bitcoin-based cross-chain atomic swaps protocol.

01. 概要 Bitcoinの利便性を再定義するDEX銘柄

Portalは、異なるブロックチェーン上でビットコイン（BTC）を直接、安全に交換できる新技術を提案しています。従来、異なるブロックチェーンを接続するためにはラッパーやブリッジといった仕組みや、セキュリティやプライバシーのリスクを伴う中央集権型の取引所の利用が必要でした。Portalの技術を使用することで、これらの中間者を介さずにユーザー同士が直接ビットコインを交換できるようになり、より安全かつプライバシーを保ちながら取引を行うことが可能になります。

02. 運営メンバー

共同創設者兼CEO：Chandra Duggirala氏

同氏は、2017年から2018年にかけて仮想通貨と分散型インフラに関わり、2つの査読済みホワイトペーパーを執筆しました。医学士と生物学の博士号を持つ彼は、複数のスタートアップの創業者としてリーダーシップを発揮し、Portalの運営に役立つ深い知識と経験を提供しています。開発チームには、George Burke氏も参加しており、彼はフィンテック業界で印象的なキャリアを持ち、製品開発、市場参入戦略、成長戦略の分野で豊富な経験を有しています。Burke氏は特に暗号通貨とブロックチェーンにおいて8年の経験があり、世界で最初のビットコインミートアップの主催者であり、Ethereumの初期投資家の一人です。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★★(3.0)

Portalは、ビットコインに関連するアトミックスワップ技術を提供するファイナンシャルテクノロジー企業となります。アトミックスワップ技術にも課題があるという声もありますが、ビットコイン関連のソリューションの需要は、Ordinalsプロトコルの導入やアメリカ合衆国でのスポットビットコイン上場投資信託（ETF）の承認など、最近の動向により、今後数ヶ月で増加すると予想されています。

メンバー ★★☆(2.5)

Portalプロジェクトのメンバーは、経験豊富で実績のあるリーダーを中心に、強力な基盤を持っています。しかし、プロジェクトの成功をさらに確実なものにするためには、DeFi分野での専門性の深化やコミュニティ運営を含めたチームの多様性と補完性の向上が鍵となります。

CMC新規リスト銘柄 最新情報分析

『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 2/26

2024年1月27日から2月26日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位から200位の間にある『大穴：新規銘柄』の月次調査確認します。

CMC新規リスト銘柄【2月時点】

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格 (掲載~2/26比較)	24時間 取引量ランク
2/1	#76→#109	 Jupiter	DEX	¥100,168,056,035	¥74.28 ▽12.43%	#8→#66
2/8	#71→#89	 Dymension 	modular blockchain	¥136,963,700,610	¥938.46 ▽17.06%	#20→#157
2/16	#115→#118	 Zetachain	Layer1	¥89,532,537,129	¥378.66 ▽9.47%	#73→#94
2/22	#55→#61	 Starknet	Layer2	¥215,505,153,141	¥295.40 ▲2.56%	#9→#26

リサーチ担当のコメント

Dymensionについては、同ネットワークで大きな影響力を持つ主要なバリデーターであるChorus Oneが、技術的な問題に直面しているとのこと。Chorus Oneは、ネットワーク全体の投票権の約34.8%を掌握しており、そのノードの問題は、ネットワークの運営において大きな障害となり得ます。このノードの問題が存在するにも関わらず、Dymensionのトークン価格は一時的に高騰しました。しかし、月末に近づくにつれて、価格の動向が芳しくない状況を示しています。これは、Chorus Oneのような主要バリデーターが直面している技術的問題が、投資家の信頼や市場の期待に影響を及ぼし、結果としてトークン価格に悪影響を与えている可能性があります。

リサーチ担当のコメント

Starknetについては、直近7日間で、総価値ロック（TVL）が194%増加し、1.32億ドルに達したとAMBCryptoが報じました。これにより、Starknetはブロックチェーン上で立ち上げられたプロジェクトの中で、Ethereum Layer 2としては4番目に大きな規模になりました。TVLの増加は、プロジェクトへの市場信頼の回復を示しており、Starknetの成長を印象づけるものです。メインネットのローンチとエアドロップイベント時に見られた不安要素がトークン価格の乱高下を引き起こしたものの、StarknetがLayer 2プロジェクトとしての実績を着実に積み重ねていることは、投資家の信頼を再び獲得する上で有効な手段となり得ます。このような成果は、市場におけるプロジェクトの位置付けを強化し、将来的な成長への期待を高める要因にもなっています。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>